

事業評価シート

番号 0660010 - 001

【1.基本情報】

事業名	長良川鶺鴒文化のユネスコ無形文化遺産化PR事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課		
未来地図政策	観光・交流の活性化			政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成28年度～	年度	根拠法令 関連計画※	長良川鶺鴒世界遺産化戦略プログラム	

【2.事業概要】

事業の目的	長良川鶺鴒文化のユネスコ無形文化遺産登録に向け、市内外へのPRに加え、鶺鴒文化に関する市民の理解を深め、機運醸成につなげる。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 主に市中心部や主要観光施設にPR用幟旗を掲揚するとともに、バス車両への広告掲載を行う。 市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた取り組みの支援を行う。 	
事業の対象	何を	長良川鶺鴒文化のユネスコ無形文化遺産登録を目指す取り組み
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民、岐阜市を訪れた人、岐阜市にゆかりのある人
	どのくらい (具体的数値で)	PR用として、法被(70着)の貸出、幟旗(300本)・横断幕大(1枚)・横断幕小(200枚)の設置
令和2年度 (実施内容)	JR岐阜駅北口駅前広場に幟旗、庁舎に横断幕を掲出、さらに鶺鴒開催期間に合わせて岐阜バス車両への広告掲載を行った。 市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた活動の支援。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	634	20	476	15	325	10
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	634	20	476	15	325	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,075	944	436
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	委託料(広告)			248
	委託料(幟旗作成)	889	592	
	市民団体への負担金	186	352	188
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,075	944	436

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,709	1,420	761

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	81	90	70
計(F)	81	90	70

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,628	1,330	691

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4	3	2

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	法被作成枚数	単位	枚
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	30	30	30
実績値	20	25	0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内の各観光資源の魅力度	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	60.0	60.0	60.0
実績値	57.2	58.0	55.6
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	・1300年以上の歴史を有する長良川鶺鴒文化を保存・継承していくため、魅力の再発見、再認識及び発信と、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組みを行っていく必要がある。 ・ユネスコ無形文化遺産登録に向け、申請主体となる市が担うべき事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	・幟旗等の掲揚による市内外へのPRに加え、市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた取組みにより、一定の効果が得られている。 ・市内外へのPRや市民の機運醸成に向け、行政と市民団体がそれぞれの役割に応じた取組みを推進している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	・幟旗等の掲揚による市内外へのPRに加え、市民団体による魅力発信や理解促進等に向けた取組みにより、一定の効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	・ユネスコ無形文化遺産登録に向けた市内外へのPRや市民の機運醸成に資するものであり、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	・幟旗等の配布先には多数の民間施設も含まれ、掲揚によるPR効果に加え、民間事業者における意識醸成に寄与しているほか、令和元年度からバス広告を掲載するなど、手段の多様化も図っている。また、市民団体の会員数も、設立年度(平成28年12月)の個人会員15名、団体会員1団体、サポーター3名から、現在(令和3年3月)の個人会員53名、団体会員1団体、サポーター9名に増加しており、今後も市民とともに、ユネスコ無形文化遺産登録に向け取り組んでいく。

事業評価シート

番号 0660010 - 002

【1.基本情報】

事業名	旧いとう旅館活用施設整備事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	ぎふ魅力づくり推進政策課		
未来地図政策	観光・交流の活性化			政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成28年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	本市を代表する観光エリアである「川原町」に所在する「旧いとう旅館」を活用し、観光振興を通じた魅力向上や交流人口の増加を図る。	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに聴取した有識者や市民による意見、また、事業者へのヒアリング結果を踏まえ、施設の活用方法等に関する基本的な考え方となる基本方針の検討を行う。 ・除草や樹木剪定等、適正な施設管理を行う。 	
事業の対象	何を	旧いとう旅館の活用基本方針の検討及び適正な施設管理
	誰に (対象者・対象者数)	市民及び観光客
	どのくらい (具体的数値で)	活用基本方針を検討するとともに、適正な施設管理の実施
令和2年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の活用方法等に関する基本的考え方を整理 ・施設管理(警備業務(通年)、除草業務(1回)、樹木剪定(1回)) 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	634	20	680	20	650	20
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	634	20	680	20	650	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		287	297	604
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	委託料	192	194	196
	手数料	91	99	404
	電気料	4	4	4
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		287	297	604

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	921	977	1,254

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	921	977	1,254

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民	(主に)岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	2	3

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	樹木の剪定、草刈り等施設の維持管理	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			1
実績値			2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設の大規模修繕の必要性	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			0
実績値			0
達成状況			○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	ぎふ長良川の鶺鴒や岐阜城など、本市を代表する観光資源に近接する川原町エリアに立地し、観光振興の推進に資する活用を図る必要がある。 寄付採納した施設であり、市が担うべき事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現状の経費は管理費用のみである。 随時、民間事業者等の意見を聴取しながら進捗を図っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	耐震診断の結果、既存施設の活用には多額の費用を要することが想定されるため、今後、より効率的な整備方法を検討する。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	既存施設を生かした民間活力による整備及び財源を考慮(国等の補助金の活用など財源を確保)した整備方法を検討する。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	既存施設の整備活用を前提とした検討を行う中、整備までの間、老朽化や景観、防犯等への適切な対応を図るため、適宜、必要な維持管理業務を行う。